



ニュースレター

2020年3月(号外)

発行; 小倉バプテスト教会 牧師; 山本龍一郎
編集担当; 嶋田涼美(責任者/3月号担当)
大庭博子・山本佐智子・島 由美
TEL; 093-521-2862
Email; kokuracc@yahoo.co.jp

2020年3月の「がらがらどん」は中止になりました。

(予定の開催日 3月28日)

新型コロナウイルス感染拡大の状況から、お休みさせていただきました。

3月のテーマ

「キリストのご受難」
テキストの絵本も決めておりましたので、今号の「ニュースレター」は、紙上による読書会に致しました。
(発行; 2020年4月5日 棕櫚の主日)



メッセージ

人の子は異邦人に引き渡されて、侮辱され、乱暴な仕打ちを受け、唾をかけられる。彼らは人の子を、鞭打ってから殺す。そして、人の子は三日目に復活する。」(ルカによる福音書 18:32-33)

世界中の人々が恐れる新型コロナウイルスにかかってしまった方の証言です。「眠れないほどの熱が出て、せきが止まらず、19日間苦しみ、自分は死ぬと覚悟した。」

イエスさまは人として生まれ、人として十字架で死なれました。イエスさまも死ぬという覚悟をされて、死なれました。その死は自分が犯した失敗のせいでもなく、神様を知らずに自分勝手に生きる私たちを赦すために、神様によって供えられた償いの死だったのです。そして、主イエスは死を打ち破り、墓からよみがえられました。

牧師; 山本 龍一郎

今月の絵本

エリック・カール作
アーサー・ビナード訳
偕成社

牛乳をこぼし、パン生地に入水を入れて焼いたパン屋さん。怒った王さまが難題を出した。



プレッツェルの由来をえがいた昔話の絵本。「王様の難題」とは?

「あさひが三つさしてくるパンを作れ!」
苦心さんたんの末、ちょっとした偶然からそれは

“出来ました!!”

王様も大満足!



聖なる、聖なる、聖なるかな、
三つにしまして 一つなる
神の御名をば あさまだき
おきいでてこそ ほめまつれ (新生讃美歌1番)

私たちは、思わずこんな讃美歌を口ずさんでいました。

このpretzel(プレッツェルのというふしぎなことは、「腕」を意味するラテン語のbracchium(ブラッキウム)からきたのではないかとわれています。



むかしのヨーロッパでは、人びとが祈るときに両腕を胸の前でくみ、両手を肩にかけましたが、その祈りの姿をパンでかたどったものが、焼かれるようになったそうです。ネーミングは「ブラッキウム」から「プレッツェル」、そして「プレッツェル」へ。
春の復活祭のまえに、質素なパンとしてプレッツェルを食べる習慣もあって、けれど今では、みんないつでもおいしくかじっています。

ちなみに、アクセサリーの腕輪をいう「ブレスレット」も、プレッツェルと同じ語源です。



(絵本:「プレッツェルのはじまり」p32)より抜粋。

…お知らせ…

4月25日(土)イースター&100回記念
絵本「シャロンの小さなバラ」
5月30日(土)「オルガニスト、
福田のぞみ先生をお招きして、
絵本「ひとりぼっちのオルガン」
をテキストに開催するよう準備
しておりますが、今後の状況や
教育機関等の対応を鑑みながら、
検討してまいります。決まり
次第お知らせいたします。

エリック・カールの絵本
(みんなが知っている)



☆ あまり知られていない ☆

「プレッツェルのはじまり」をさちこさんが、読み聞かせの奉仕で訪れた学校図書室で見付けました。「復活祭の前に食べる…」丁度今頃です。戸畑のパン屋さんで見つけた、「プレッツェル」3月の会で、皆さんと一緒に食べましょう! …でも今回の読書会は、ご存知のように休会になりました。皆さんそれぞれのお家で、食べてくださいね!
すずみ